

福岡市 CALS/EC アクションプログラム概要

平成15年3月

はじめに

本市では、「福岡市 CALS/EC 整備基本構想」に基づき、公共事業 CALS/EC の具体的な整備計画として「福岡市 CALS/EC アクションプログラム」を策定しました。

「福岡市 CALS/EC アクションプログラム」は、本市として CALS/EC 普及に向けて取り組む内容及びスケジュールを示したものであり、公共事業関連部局の既存システムとの連携や新たに導入するシステムの費用対効果を考慮しながら、電子調達（入札）、電子納品、施工・保全・計画に関するシステムを段階的に整備する計画としています。

福岡市 CALS/EC 概要と整備項目

【CALS/EC の概要イメージ】

本市における CALS/EC の概要イメージを図1に示します。

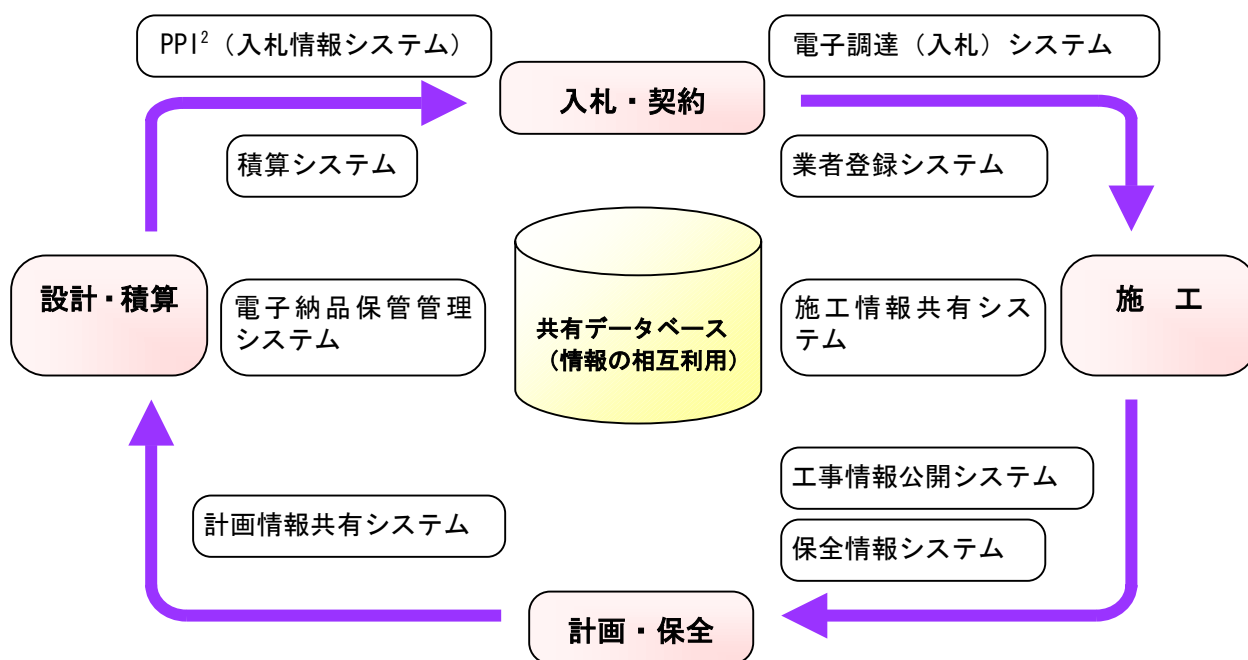


図1. CALS/EC の概要イメージ

¹ PPI (Public Works Procurement Information Service)
インターネット上で発注予定情報、発注情報、入札結果等を公開するシステム。

【整備項目】

本市の CALS/EC において整備を検討する項目（情報システム）は以下のとおりです。順序は、公共事業のライフサイクルに準じて記述しています。

（1）計画関連システム

- ・計画情報共有システム：道路や施設等の計画、工事計画等の情報を関係部局全体で共有化し、調和のとれた公共事業計画を可能とするシステム

（2）電子設計関連システム

- ・設計図等の電子化（CAD、報告書・各種計算書等の電子化）
- ・積算の自動化（積算システムの機能向上）

（3）電子調達関連システム

- ・電子調達（入札）システム（認証局²、PPIを含む）
- ・業者登録システム
- ・既存の契約・検査システムとの連携

（4）施工業務関連システム

- ・施工情報共有システム：設計あるいは施工時に、本市と受注者との間でやりとりされる各種図面、書類等の電子データを交換・共有するためのシステム

（5）電子納品関連システム

- ・電子納品保管管理システム：設計あるいは施工時に、受注者から電子化された納品データ（書類、図面等）を受け取り、保管管理するためのシステム

（6）保全業務関連システム

- ・保全情報システム：保全台帳管理機能、データベース整備機能及び保全計画作成支援機能を基本とするシステム

（7）情報公開関連システム

- ・工事情報公開システム（ポータルサイト³）：各種工事情報の市民への公開と、市民からの情報受付を行うシステム

これらのシステム整備にあたっては、システムの数、規模によって IDC⁴や ASP⁵の利用を検討します。また、電子市役所、GIS 等の他システムとの連携も考慮していきます。

² 認証局

電子商取引等で使われる電子的な身分証明書を発行する機関。

³ ポータルサイト

インターネットの入り口となる Web サイトを指し、検索エンジンやリンク集等の機能を提供する。

⁴ IDC (Internet data center)

顧客のサーバを預かり、インターネットへの接続回線や保守・運用サービス等を提供する施設。

⁵ ASP (Application Service Provider)

ビジネス用のアプリケーションソフトをネットワークを通じて顧客にレンタルする事業者のこと。

福岡市 CALS/EC アクションプログラム

業務毎の整備内容を整理した全体のアクションプログラムを表1に示します。

表1. 福岡市 CALS/EC アクションプログラム

整備期間		フェーズ1		フェーズ2			フェーズ3
		2003年度 (H15)	2004年度 (H16)	2005年度 (H17)	2006年度 (H18)	2007年度 (H19)	2008年度以降 (H20)以降
基本目標		<ul style="list-style-type: none"> 電子調達（入札）・電子納品の一部実施（実証実験） 電子納品・施工情報等の要領・基準作成 積算の自動化に向けた内容検討 電子納品保管管理、施工情報共有システムの内容検討 保全・計画関連システムの内容検討 		<ul style="list-style-type: none"> 電子調達（入札）・電子納品の運用・範囲拡大 積算システムの設計・開発・運用 電子納品保管管理、施工情報共有システムの運用 保全情報システムの設計・開発・運用 工事情報公開、計画情報共有システムの内容検討・設計・開発 電子市役所やGIS等との一部連携 			<ul style="list-style-type: none"> 工事情報公開、計画情報共有システム等の運用 電子市役所やGIS等の全市的な情報システムとの統合化
電子調達	電子調達（入札）システム 入札情報システム 業者登録システム	基本計画	設計開発	運用	順次拡大		
	認証局	利用準備		実験			
電子設計・電子納品	積算の自動化（積算システム）	内容検討		設計	開発	運用	
	成果物の電子納品	実証実験（媒体納品、オンライン納品）					
		電子納品基準・要領等の検討、策定					
	電子納品保管管理システム	内容検討	試行導入	運用	順次拡大		
	電子納品支援ツール(システム)	実証実験		一部導入	順次拡大		
施工・保全・計画	施工情報共有	実証実験（媒体、オンライン）					
	・施工情報共有システム	共有情報の検討	システム内容検討	設計	開発	運用	順次拡大
	保全・計画関連システム ・保全情報システム	内容検討		設計	開発	運用	
	・工事情報公開システム（全庁・市民向け） ・計画情報共有システム（全庁）	共有情報の検討			内容検討	設計開発	運用
全般	運用規則、セキュリティ基準等の策定	CALS/EC 全体としての情報共有化規則、セキュリティ基準の検討、策定（修正）					
		各システム毎の運用規則、セキュリティ基準を順次検討、策定（修正）					
	建設業界、職員の啓発研修	各種要領基準等の調査検討、電子納品要領（各段階）の説明、各システム導入研修					

運用教育方針

(1) 既存の情報基盤を活用した運用方策

本市既存のインターネット環境を活用し、庁内の情報リテラシー教育と連携して、各導入段階に応じた研修会やシステム等の利用説明会を実施していきます。

(2) CALS/EC 推進専門部会、作業部会の活用

公共事業関係部局で構成する CALS/EC 推進専門部会、作業部会を継続的に活用し、段階的に整備していく各システムの内容検討、各種基準の検討・策定、福岡市の他システム（電子市役所、GIS 等）との連携検討等を行っていきます。

普及啓発活動

(1) 受注者への普及啓発活動

本市における CALS/EC 各種基準・要領の調査検討時に、必要に応じて建設関連業界に対しての調査・説明等を行います。また、CALS/EC 関連システム導入にあたって受注者側での対応が必要なものについては、研修・説明会等を適宜実施します。

(2) 市民への広報

公共事業における CALS/EC 導入の効果を、ホームページや広報紙等を活用して、積極的に市民に広報します。

電子調達（入札）及び電子納品の実証実験について

表 2. 電子調達（入札）システム及び電子納品の実証実験

実施内容		実施年度					対象者
		2003 (H15)	2004 (H16)	2005 (H17)	2006 (H18)	2007 (H19)	
電子調達 (入札) システム	システム運用実験		●				福岡市
	業者登録システム試行 実験		●				福岡市、実験参加希望 受注者
	電子入札システム試行 実験			●			福岡市、実験参加希望 受注者
電子 納品 (施工 情報 共有)	調査設計図書（媒体手 渡し）	●	●				福岡市、対象事業受注 者
	同上（オンライン）			●	●		福岡市、対象事業受注 者
	工事完成図書（媒体手 渡し）	●	●	●			福岡市、対象事業受注 者
	同上（オンライン）				●	●	福岡市、対象事業受注 者

※欄内で●が左寄せは年度前半、右寄せは年度後半を予定。

なお、この「福岡市CALS/EC アクションプログラム」については、社会の動向（国等における法律・基準の整備状況、受注者側の対応）を踏まえて、必要に応じて検討・修正を行います。